

一般質問（令和6年第5回定例会）

質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
川浦 雅子	1. 引きこもり状態にある方やその家族が直面する課題について	1. 継続的な支援体制の構築について ・引きこもり状態にある方を抱える親が持つ不安解消に対応できる支援について伺う。また、8050問題が社会問題化しているなか、親亡き後の対象者の自立支援について伺う。
	2. 認定子ども園について	1. 開園に向けた準備状況について ・令和8年度の認定子ども園開園にむけハード、ソフト両面での具体的な進捗を伺うとともに、新たな課題等の発生状況について伺う。
	3. 子育て支援PRと交流事業について	1. 子育て支援を通じた町の魅力発信について ・給食費無償化や小学校入学時のランリュック支給等、神川町では多くの保護者負担軽減策が講じられている。これら手厚い子育て支援について、より効果的なPRを行うとともに、町外や都市部の子育て世帯との農業体験等を盛り込んだ交流事業を企画するなど、子育て支援を通じた神川町の多角的な魅力発信が可能だと考えるが、町の考えを伺う。
新井 太一	1. 有害鳥獣被害について	1. 有害鳥獣被害対策及び猟友会への支援について ・有害鳥獣被害が増加し、なかでも鹿の出没件数が急激に多くなり、農作物の被害や人家への侵入、また、道路への飛び出しにより住民への危害が及ぶ事故も発生しているが、有害鳥獣被害に対しての町の認識及び今後の対策について伺う。あわせて、後継者不足でもある猟友会への支援について伺う。
	2. 下久保ダム周辺整備について	1. 下久保ダム周辺の道路整備について ・下久保ダム建設に伴い道路を新たに整備するなどの、周辺整備が行われましたが、道路幅は狭く草木が繁茂し、自動車のすれ違いや大型観光バスの通行に支障をきたしている状況である。下久保ダムや城峯公園の観光振興のため道路の拡張や、道路改良などの整備が必要と考えるが町の考えを伺う。

福島 康弘	1. 防犯対策の推進について	1. 地域防犯対策の強化について ・昨今、全国的に住居侵入や強盗等の犯罪が多発しているなか、侵入を感知するセンサー設置や被害を知らせる笛の配布等で対策を強化していく必要があると考える。町として、どのように対策を考えているのか伺う。また、防犯カメラの設置について、以前にも質問があったと思うが、新たに検証・検討をしたことがあるのかを伺う。
坂本 貴佳	1. 町の人口状況について	1. 消滅可能性自治体からの脱却について ・神川町が消滅可能性自治体となっているが、そこから脱却した自治体の取組などを参考にして、早急に打開策を講じる必要があると考えるが、町の考えを伺う。
剣持真菜美	1. 地域活性化について	1. 神川町の持続可能な未来を築くためには ・地域活性化の1つの手段として“次世代育成とシビックプライドの醸成”が重要です。そのためには、地域教育やイベントを「学びから行動」に繋げる仕組みを整えることで、子供たちが主体的に地域課題に取り組む、町への愛着や誇りを育む必要がある。こうした取り組みは、若者が町を離れた後も「戻りたい」「貢献したい」と思うきっかけを生み出し、地域活性化にも繋がると考える。町として“次世代育成とシビックプライドの醸成”に向けた視点での具体的な計画を伺う。
赤羽奈保子	1. 難聴者への聴こえの支援について	1. 窓口における支援について ・一般社団法人日本補聴器工業会によると、日本の難聴者は人口の1割程度、人数に換算すると、約1,200万人に上り、高齢化に伴い、今後さらに増えると見込まれる。聴覚機能に不安を抱える割合が多くなると、行政の窓口においても対象者とのコミュニケーションについて、大声での対応や個人情報が出てしまう等の課題を感じていると思う。そこで、円滑に情報伝達する方法として、軟骨伝導イヤホン等を導入し、優しい窓口対応ができるよう、音のバリアフリーに取り組む必要があると考えるが、町の考えを伺う。
	2. ユマニチュードの普及について	1. 認知症コミュニケーション技法「ユマニチュード」の活用について ・「ユマニチュード」は、認知症等の介護ケア技法で「その人らしさを取り戻す、優しい認知症ケア」として注目されている。この技法の導入は、介護現場のみならず、家族介護に関わる住民（家族）にも効果的と言われている。町では、地域の介護事業所での技法習得の研修会や住民向けの講座などの施策を展開し、今後、地域での介護ケアの質向上や人材育成手段としてこの技法を取り入れるべきと考える、町の考えを伺う。